第 10 講　室町時代Ⅱ

1　庶民の台頭

①惣(そう)〔惣村(そうそん)〕の成立

荘園・公領の枠(わく)を越えた，自然発生的な村の自立的・自治的結合をいう。鎌倉時代後期に**畿内**やその周辺に発生，**南北朝時代**以後に全国化。

A　**自治的結合の背景**

あ　**鎌倉期の生産力向上による独立小農民の成長。**

☆作人が新たな小名主(みょうしゅ)に成長。

い　共同利用地である**入会地(いりあいち)**の入会権(いりあいけん)や用水問題に関する結合の必要性。

☆村の神社(鎮守(ちんじゅ))の祭礼や農業の共同作業もあった。

う　荘園領主や国人の不当な要求への対抗。

え　**鎌倉末期～南北朝時代の戦乱に対する自衛。**

B　惣〔惣村〕の構成

あ　構成員⇒**惣百姓(そうびゃくしょう)**

名主(みょうしゅ)および新興の小名主(もとの作人(さくにん))。

い　指導階層⇒**おとな〔長(おとな)・乙名(おとな)〕・沙汰人(さたにん)**・番頭・年寄

有力名主の代表者で，守護大名・国人などと主従関係を結び，**地侍(じざむらい)**となる者も多かった。

---

②惣〔惣村〕の運営

A　**寄合**⇒村民の会議

あ　**宮座**(上層農民たちの祭祀集団)が主導。

い　**惣掟〔村掟・村法〕**を定め，違反者は**地下検断〔自検断〕**により追放。

☆村内の秩序を維持するため，村民たち自身が警察権を行使した。

う　鎮守の祭礼，入会地・用水の管理・整備。

え　独自の税である村役を課すこともあった。

B　**地下請**〔百姓請・村請〕

領主に納める年貢を，惣全体の責任で一括して請け負う。

C　**共同作業**

結・もやい

D　相互金融

無尽(講)・頼母子(講)

---

③惣荘・惣郷

幾つもの惣が荘園・公領ごとに結合・発展し，より大規模な自治組織も生まれた。これらは領内の枠を越えて相互に連帯したため，**荘園公領制の解体が進行**した。

---

④土民の抵抗

A　背景

惣百姓などの（＝**土民**）の強い連帯意識。

☆起請文を作成し，**一味神水**の儀式により**一揆**を結び団結した。

B　要求

不法荘官・代官の免職，水害・冷害・干害時の年貢減免，関所の撤廃，徳政令発布など。

C　抵抗手段⇒“荘家の一揆”

あ　**愁訴**

年貢減免などを百姓申状にして，領主に嘆願すること。

い　**強訴**

集団の威力を背景に，領主に強圧的に訴えること。

う　**逃散**

一村が団結して耕作を放棄し，他領や山林へ逃げ込むなどの方法で抵抗すること。

D　連帯行動

指導者は守護などと主従関係を結び武士化（＝**地侍**）するものも多く，広く周辺の惣と連合。荘園領主や国人の領主支配は次第に困難化。

---

⑤一揆の拡大

A　**土一揆**（庶民による一揆）

1428年　正長の徳政一揆—尋尊『**大乗院日記目録**』「**柳生の徳政碑文**」より—

☆**近江国坂本の馬借の蜂起**が発端。

☆**足利義教**が**６代将軍**に就任直前の京内に乱入，酒屋・土倉・寺院を襲撃し，**畿内各地で私徳政を実行**。

1429年　播磨の土一揆　—中山定親『薩戒記』より—

☆**守護赤松満祐**による守護領国制の展開に「侍をして国中に在らしむべからず」と抵抗。

1441年　嘉吉の徳政一揆

☆土民勢力が嘉吉の変に乗じ７代将軍義勝の“**代始めの徳政**”を要求，幕府は**初の徳政令**（山城一国平均）を発布。

☆以後の幕府は，**分一銭**獲得のため分一徳政令や徳政禁制令を濫発。

B　**国一揆**　（国人一揆と土一揆が**一国単位**で結合）

1485年　山城の国一揆　—尋尊ら『大乗院寺社雑事記』より—

☆**両畠山軍（政長・義就）の山城国退去**，寺社本所領の還付，関所の新設停止の３点を要求し，畠山氏を追放。**国人の月行事〔月行司，36人衆〕らによる自治が８年間続いた。**

C　**一向一揆（一向宗〔浄土真宗〕**の坊主・門徒による一揆）

1488年　加賀の一向一揆　—『蔭涼軒日録』『実悟記拾遺』より—

☆**本願寺８世蓮如**〔兼寿〕が，**越前国吉崎**を拠点に**講**を組織し惣を直接掌握，平易な**御文〔御文章〕**を用いて布教。

☆**加賀国守護富樫政親を滅ぼし**て富樫泰高を擁立し，**約１世紀の間自治支配を続けた**が，1580年，織田信長により討滅される。

D　**法華一揆（京都町衆の日蓮宗徒による一揆）**

15世紀半ば，京都における**日親**の戦闘的な布教が，商工業者の信者を生み出す。

1532年　法華一揆

☆京都を戦火から守るため，一向一揆の**山科本願寺**を焼打ち。

1536年　天文法華の乱

☆比叡山延暦寺と六角氏（近江国）による，京都の日蓮宗21カ寺の焼打ち事件。法華一揆は一時的に京都を追われた。

２　室町幕府の衰退

①幕府政治の衰退

守護大名の台頭と農民層の自立化により，内乱・一揆が頻発。

A　**４代将軍足利義持**（＝安定）

将軍と有力守護大名の勢力が均衡，**幕府が守護大名の連合政権的性格を強める。**

1416年～上杉禅秀の乱（～17年）

☆**鎌倉公方足利持氏**の要請を受けた幕府が，前関東管領上杉禅秀〔氏憲〕を討伐。

B　**６代将軍足利義教（＝専制）**

将軍権力強化のため，有力守護大名など他勢力を強烈に圧迫。

1438年～永享の乱（～39年）

６代将軍義教・関東管領上杉憲実が，鎌倉公方足利持氏を討伐。

1440年～結城合戦（～41年）

幕府軍＋関東管領上杉憲実が結城氏朝（足利持氏の子を擁立）を討伐。

1441年　嘉吉の変

播磨国守護赤松満祐が，６代将軍義教を謀殺。

☆**山名持豊〔宗全〕**らの幕府軍が赤松満祐を討伐するが，これ以降将軍〔公方〕の権威は大きく揺らいだ。

C　**８代将軍足利義政（＝失政）**

政務の放棄，造営事業の浪費。

1454年～享徳の乱（～82年）

幕府軍＋関東管領上杉氏が**鎌倉公方足利成氏**と戦う。

☆鎌倉公方は**古河公方（足利成氏）**と**堀越公方（足利政知）**に分裂。

☆関東管領上杉氏も**山内上杉家**と**扇谷上杉家**に分裂。

1461年　寛正の大飢饉

☆中世最大の飢饉。

1467年～応仁の乱（～77年）

②応仁の乱（1467年〜77年）

A　**原因**

あ　**８代将軍足利義政の失政**と夫人**日野富子**（ひのとみこ）の政治介入。

い　**将軍家の家督**（かとく）**相続争い（足利義視**（よしみ）**〔義政の弟〕vs足利義尚**（よしひさ）**〔義政の子〕）。**

う　管領家（畠山氏〔政長（まさなが）・義就（よしなり／よしひろ）〕・斯波（しば）氏〔義敏（よしとし）・義廉（よしかど）〕）の家督相続争い。

え　**細川勝元と山名宗全〔持豊〕の勢力争い。**

B　経過

1467年，畠山政長軍と義就軍が京都で衝突。守護大名たちが**東軍（細川方）・西軍（山名方）**に分かれて対立，**京都を主戦場とするが，戦いは全国に波及。**

☆1473年には両軍の総大将が死去，将軍義政も引退し**９代将軍に義尚が就任**するが戦乱は収まらず，全国各地で土一揆や国人の反乱が続発。**1477年**に至（いた）り戦いに疲（つか）れた両軍の間に和議が結ばれ，諸将は帰国した。

C　**結果**

あ　**幕府（将軍）権威の失墜**（しっつい）

将軍の支配力は，ほぼ山城国のみとなる。

☆幕府本体も，有力守護大名の連合政権という形式をとれない事態となった。

い　**京都の焼失・荒廃（足軽**（あしがる）**の横暴）**

「汝（ナレ）ヤシル都ハ野辺（ノベ）ノ夕雲雀（ユウヒバリ）アガルヲ見テモ落（オツ）ル涙ハ」

（飯尾彦六左衛門尉（いいおひころくざえもんのじょう））―『応仁記』より―

☆公家・僧侶の没落と地方下向（げこう）により，**文化の地方普及が進む。**

う　荘園公領制の崩壊

戦乱の中で，地方武士が荘園を略奪。

え　**守護領国制の衰退**

下の者が上の者の勢力を凌（しの）いでいく**下剋上**（げこくじょう）の風潮が高まり，守護代や国人に領国を奪われる守護大名もあった。

お　**戦国大名の登場**

争乱が全国に波及し，以後約100年にわたる戦国時代に突入。

３　戦国時代

①戦国大名の出自《しゅつじ》と下剋上

A　**戦国大名**の出自

あ　**守護大名**

武田(**甲斐**《かい》)，**今川**(**駿河**《するが》・**遠江**《とおとうみ》)，六角《ろっかく》(南近江)，大内(周防《すおう》・長門《ながと》)，大友(豊後《ぶんご》)，**島津**(**薩摩**)など。

い　**守護代**

上杉(**越後**《えちご》)，**朝倉**(**越前**)，**織田**(**尾張**)，尼子《あまご》(出雲《いずも》)など。

う　国人・土豪など地方武士

伊達《だて》(**陸奥**)，浅井《あざい》(北近江)，**毛利**《もうり》(**安芸**《あき》)，**長宗我部**《ちょうそかべ》(**土佐**)など。

え　その他

北条早雲《そううん》〔**伊勢宗瑞**《そうずい》〕(**伊豆**・**相模**《さがみ》⇒牢人？)，**斎藤道三**《どうさん》(**美濃**⇒商人？)など。

B　**室町幕府**の情勢

1493年，細川政元《まさもと》が10代将軍足利義稙《よしたね》を廃し11代義澄《よしずみ》を擁立《ようりつ》し管領《かんれい》として実権を握る。(＝**明応**《めいおう》**の政変**)

☆16世紀半ば，管領細川晴元《はるもと》を重臣の**三好長慶**《みよしながよし》が追放したが，その死後，家臣の**松永久秀**《まつながひさひで》がさらに下剋上。1565年，**久秀は13代将軍足利義輝**《よしてる》**を殺害**，のち筒井順慶《つついじゅんけい》や三好三人衆と戦い，**東大寺大仏殿も焼打ち**し，畿内で強勢を誇《ほこ》った。

C　**東北地方**の情勢

陸奥の**伊達氏**，出羽の最上《もがみ》氏など国人出身者が群雄割拠《ぐんゆうかっきょ》。

D　**関東地方**の情勢

あ　鎌倉公方《くぼう》・関東管領の分裂

☆古河公方・堀越公方と山内《やまのうち》上杉・扇谷《おおぎがやつ》上杉。

い　**北条氏**〔**後**《ご》**北条氏**〕の制覇

早雲⇒氏綱《うじつな》⇒氏康《うじやす》⇒氏政《うじまさ》の４代で関東の大半を支配。

☆北条早雲は堀越《ほりごえ》公方足利政知《まさとも》の子茶々丸《ちゃちゃまる》を滅ぼし伊豆を支配。のち小田原《おだわら》城に入り，相模《さがみ》も支配した。

E　**中部地方**の情勢

あ　**甲斐**

守護の**武田信玄〔晴信〕**が信濃に進出し，上杉謙信と対立。５度にわたり北信濃の**川中島**で戦う。

い　**越後**

守護代**上杉謙信〔長尾景虎〕**が，上杉〔山内〕憲政から守護職・関東管領職を継承。

う　**越前**

守護代**朝倉**孝景〔敏景〕が**斯波氏**から守護職を奪う。**一乗谷**を拠点とし勢力を伸長。

え　**駿河・遠江**

今川氏親の後を継いだ**義元**が強大化，三河の松平氏などを服属させ上洛をはかる。

お　**尾張**

織田信秀・**信長**父子が守護の**斯波氏**にかわり台頭。

か　**美濃**

斎藤道三が守護の土岐氏を滅ぼす。

F　**近畿地方**の情勢

あ　近江

浅井氏が守護の京極氏を倒し北近江を制圧，南近江は六角氏が支配。

い　京都

松永久秀が主家の三好氏を追放，幕府の実権を掌握。

G　**中国地方**の情勢

守護代**陶晴賢**により，守護の**大内義隆**が滅亡(1551 年)。

☆1555 年の**厳島の戦い**で陶晴賢を滅ぼした，**安芸**の国人**毛利元就**が台頭。のち出雲の尼子氏も滅ぼし中国全土を支配。

H　**四国地方**の情勢

土佐の**長宗我部元親**が四国南部を統一し，北部へも進出。

I　**九州地方**の情勢

肥前の龍造寺氏，**豊後**の**大友氏**，**薩摩**の**島津氏**が群雄割拠。

②戦国大名の領国〔分国〕支配＝大名領国制

A　**性格**

あ　**幕府（将軍）権力から独立，分国内の一円支配を達成。**

☆守護大名にかわる新たな軍事指導者としての実力を備える。

い　**荘園公領制を否定，惣郷・惣荘全体の農民を直接支配。**

☆守護大名にかわる新たな領国支配者としての実力を備える。

B　**家臣団**の編成

あ　国人・地侍を家臣化⇒**寄親・寄子制**

☆親子関係に似た協力体制を軍事行動・日常生活ともに維持し，家臣団内の連携をはかろうとした制度。

☆これにより，鉄砲・長槍などの新たな武器を使った集団戦が可能となった。

い　**有力家臣を城下町に集住させる**

C　**分国法〔家法〕**の制定

分国経営の基本法。中世法の集大成的な性格。

あ　**家臣団の統制**⇒当時はまだ家臣団の独立性が強く，統制に苦慮。

私的同盟の禁止，領地の自由売買禁止，**城下町への集住**，**嫡子単独相続の励行**，**喧嘩両成敗法（私闘の禁止）**，**連坐制・縁坐制**など。

い　農民の統制

年貢納入の規定，逃散対策の規定など。

D　**おもな分国法**

あ　**家訓**

朝　倉　氏（越前）⇒『朝倉孝景条々〔朝倉敏景十七箇条〕』

北　条　氏（相模）⇒『早雲寺殿廿一箇条』

い　**家法**

相　良　氏（肥後）⇒『相良氏法度』

大　内　氏（周防）⇒『大内氏掟書〔大内家壁書〕』

今　川　氏（駿河）⇒『今川仮名目録』『今川仮名目録追加』

☆今川氏親・義元父子がそれぞれ制定。

伊　達　氏（陸奥）⇒『塵芥集』

☆伊達稙宗が制定した**最大の分国法（171 条）**。

武　田　氏（甲斐）⇒『甲州法度之次第〔信玄家法〕』

結　城　氏（下総）⇒『結城氏新法度』

六　角　氏（近江）⇒『六角氏式目〔義治（よしはる）式目〕』

三　好　氏（阿波（あわ））⇒『新加制式』

長宗我部氏（土佐）⇒『長宗我部氏掟書〔長宗我部元親百箇条〕』

E　土地支配⇒**荘園公領制を否定**

家臣である国人・地侍（＝寄親・寄子）の地位・収入を保障するかわりに，収入額を銭に換算した**貫高（かんだか）**という基準で統一的に把握。自己申告制（じこしんこく）の**指出検地（さしだしけんち）**により**貫高制**にもとづき**軍役（ぐんやく）**を負担させた。

☆検地により，土地面積と年貢量などが**検地帳**に登録され，戦国大名の農民に対する直接支配が確立した。

☆貫高制により，戦国大名の軍事制度の基礎が確立した。

F　**富国強兵策**

戦国大名には，武器および大量の物資の生産や調達が必要とされた。

あ　鉱山の開発

金山（甲斐・伊豆・駿河），銀山（**但馬生野（たじまいくの）・石見大森（いわみおおもり）**）など。

い　農業の振興

灌漑（かんがい）施設の整備，治水事業（**信玄堤（づつみ）**〔釜無（かまなし）川と御勅使（みだい）川の合流点〕など）。

う　**商業の振興**

撰銭令（えりぜにれい），**楽市・楽座**，宿駅・伝馬の設置と**関所の撤廃**，**城下町の建設**など。

③都市の発達

A　**城下町**⇒軍事・経済の拠点

小田原(相模国・北条氏)，春日山(越後国・上杉氏)，**一乗谷(越前国・朝倉氏)**，府中〔甲府〕(甲斐国・武田氏)，府中〔駿府〕(駿河国・今川氏)，**山口(周防国・大内氏)**，府内(豊後国・大友氏)，鹿児島(薩摩国・島津氏)など。

B　**門前町**

長野(信濃国・善光寺)，**坂本(近江国・延暦寺)**，大津(近江国・園城寺)，奈良(大和国・興福寺など)，**宇治・山田(伊勢国・伊勢神宮)**など。

C　**寺内町**⇒おもに**浄土真宗〔一向宗〕**寺院の境内に成立した自治都市

石山(摂津国・石山本願寺)，**山科(山城国・山科本願寺)**，**吉崎(越前国・吉崎道場)**，金沢(加賀国)，今井(大和国)，富田林(河内国)，貝塚(和泉国)など。

D　**港町**

堺(和泉国)，**博多(筑前国)**，**十三湊(陸奥国)**，品川(武蔵国)，**三国(越前国)**，**敦賀(越前国)**，**小浜(若狭国)**，坂本(近江国)，**大津(近江国)**，桑名(伊勢国)，**大湊(伊勢国)**，淀(山城国)・山崎(山城国)，兵庫(摂津国)，**草戸千軒町(備後国)**，尾道(備後国)，平戸(肥前国)，坊津(薩摩国)など。

E　**自由都市〔自治都市〕**⇒自らの生命と財産を護るために結合

あ　**京都**⇒上京と下京に大きく分かれる

月行事〔月行司〕を中心とする**町**という自治的団体を担う**町衆**の手で，**祇園祭**を再興。(1500年)

☆町はそれぞれ**町法**を定め，住民の生活や営業活動を維持した。

い　**堺**　⇒遣明船の発着地，のち南蛮貿易の拠点。

36人の会合衆〔納屋衆〕が自治を行う“東洋のベニス”。

う　**博多**⇒大内氏と結び，勘合貿易〔日明貿易〕の拠点となる。

12人の年行司が自治を行う。

え　その他

桑名(伊勢国)，大湊(伊勢国)，平野(摂津国)など。

４　室町文化

①室町文化の特色

A　**公家文化と武家文化の融合**(ゆうごう)がみられる。

B　日明貿易・日朝貿易など東アジアとの活発な交流にともない，**大陸文化と日本の文化との融合**がみられる。

☆武家に広がった中国の禅宗文化の影響を強く受ける。

C　各種産業の発達にともない，**庶民文化のめざましい隆盛**(りゅうせい)がみられる。

☆都市の民衆や惣村(そうそん)の惣百姓とも交流。とくに連歌・能・狂言・茶の湯・生花(いけばな)・盆踊りなど**集団性**に特徴がある。

D　**応仁の乱後は文化の地方普及が急速に進展する。**

E　**今日**(こんにち)**の日本の伝統的文化・民族文化の基盤が形成される。**

☆中央文化と地方文化の融合が進み，それが洗練・調和していく中で，日本固有の文化が形成される。

☆皇族・公家・武家・庶民が共有し，芸術性も生活文化に浸透していった。

---

②室町時代の宗教

南都六宗（奈良仏教）や天台宗・真言宗（平安仏教）などの旧仏教は，朝廷の没落や荘園の崩壊などによって勢力が衰えていった。

A　**臨済宗**(りんざいしゅう)

幕府の保護のもとで発展，幕府の衰退とともに勢力が衰えていった。

あ　**初代将軍足利尊氏・直義**(ただよし)

帰依(きえ)していた**夢窓疎石**(むそうそせき)のすすめで全国に**安国寺**(あんこくじ)**・利生塔**(りしょうとう)，京都に**天龍寺**を造営。

い　**３代将軍足利義満**

南宋の官寺(かんじ)の制にならい，**五山**(ござん)**・十刹**(じっさつ)を制度化しその下に諸山(しょざん)を置いた。また，官寺を取締(とりしま)る**僧録司**(そうろくし)を相国寺(しょうこくじ)に設置，初代僧録(そうろく)には**春屋妙葩**(しゅんおくみょうは)が就任した。

う　**京都五山**

南禅寺(なんぜんじ)**（京都・鎌倉を合わせた別格），天龍寺（１位），相国寺**(しょうこくじ)**（２位），建仁寺**(けんにんじ)**（３位）**，東福寺(とうふくじ)（４位），万寿寺(まんじゅじ)（５位）。

え　**鎌倉五山**

建長寺（１位），**円覚寺**（２位），寿福寺（３位），浄智寺（４位），浄妙寺（５位）。

お　**五山文学**

朱子学研究・漢詩文の創作などで，禅の経典などと合わせ**五山版**として出版された。

☆五山僧の中には，幕府の政治・外交へ参与したり，水墨画製作などの文化活動に携わったりする者も多数あった。

か　**林下**

より自由な活動を求め，さかんに布教を行った禅宗の在野的諸派。地方武士・民衆の支持を受け，各地に広がった。

☆臨済宗⇒**大徳寺**の**一休宗純**，**妙心寺**など。

☆曹洞宗⇒永平寺，総持寺など。

B　浄土宗

朝廷と結び京都で勢力を拡大後，東国へ進出。

C　**浄土真宗〔一向宗〕**

本願寺派が勢力を拡大し，北陸・東海・畿内の各層に浸透。応仁の乱後，**本願寺８世蓮如**〔兼寿〕が**越前国吉崎**を拠点に**御文**〔**御文章**〕を用いて布教。

☆**講**に組織された門徒集団が地域ごとに結束し強大化，各地で**一向一揆**が発生した（加賀・越前・伊勢長島・三河など）。

D　時宗

芸能・文芸面で活躍する将軍側近の**同朋衆**を輩出した。

☆**観阿弥・世阿弥**（**猿楽能**），善阿弥（作庭），能阿弥（水墨画・連歌），立阿弥（立花）など。

E　**日蓮宗〔法華宗〕**

戦闘的な布教により東国から西日本各地へ勢力を拡大。15世紀半ば，**日親**は**６代将軍義教**に**『立正治国論』を提出**，焼き鍋冠りの拷問にあうが京都の町衆への布教に成功，のち**法華一揆**が結ばれることとなった。

F　**唯一神道**

伊勢神道〔度会神道〕の影響を受けた京都吉田神社の神官**吉田兼倶**が創始。神本仏迹説〔反本地垂迹説〕にもとづき，神道を中心に儒教・仏教・道教を取り入れた。

③南北朝文化

A　建築

あ　**安国寺・利生塔**

元弘の変（1331年）以来の戦乱で戦死した者の冥福を祈るため，夢窓疎石の勧めにより**初代将軍足利尊氏・直義兄弟が全国に造立**した。

い　永保寺開山堂（美濃国）

B　絵画

あ　**水墨画**

禅の精神的境地を，墨の濃淡で象徴的に具体化。

布袋図（黙庵）

寒山図（可翁）

い　絵巻物

慕帰絵詞

☆本願寺３世覚如の一代を描く。

C　庭園

あ　**天龍寺庭園　　　（夢窓疎石）**

い　**西芳寺〔苔寺〕庭園（　　〃　　）**

D　文芸

あ　和歌

新葉和歌集（宗良親王）

☆南朝の皇族・貴族の和歌を集め，勅撰に準ぜられる。

い　**連歌**⇒公家・武家を問わず広く流行。

和歌を上の句と下の句に分け，一座の人々が次々に句を継いでいく共同作品。

菟玖波集　（二条良基）

☆最古の連歌集。勅撰に準ぜられ，連歌が和歌と対等の地位を築く。

応安新式　（　　〃　　）

☆連歌の規則書

う　五山文学⇒漢詩文集

中正子　　（中巌円月）

え　**軍記物語**

太平記　（小島法師？）

☆**南北朝の動乱を南朝の立場から記述**。のち「太平記読み」たちにより広く普及（ふきゅう）した。

曽我（そが）物語

☆曽我兄弟による仇討（あだうち）ち物語。

E　歴史⇒南北朝の動乱を反映し，歴史意識の高まりがみられる

あ　**神皇正統記（じんのうしょうとうき）（北畠親房（きたばたけちかふさ））**

神国（しんこく）思想の立場（伊勢神道の影響）から大義名分論にもとづき記述。1339年，常陸国（ひたちのくに）小田城で完成。**南朝の正統性を主張**し，吉野で**後村上天皇に献上（けんじょう）**される。

い　**梅松論（ばいしょうろん）**

足利氏の政権獲得までの過程を，**北朝の立場から**比較的史実に忠実に記述。

う　**増鏡（ますかがみ）**

公家の立場から鎌倉時代を記述した歴史物語。**四鏡（しきょう）の最後。**

F　学問

あ　古典研究

河海抄（かかいしょう）　（四辻善成（よつつじよしなり））

☆源氏物語の注釈書。

い　**有職故実（ゆうそくこじつ）**

建武年中行事（ねんじゅうぎょうじ）（後醍醐天皇）

職原抄（しょくげんしょう）　（北畠親房）

う　武家子弟・庶民の学問

正平版論語　（道祐（どうゆう））

☆わが国初の論語の印刷本。

庭訓往来（ていきんおうらい）　（玄恵（げんえ）？）

☆手紙文形式の往来物（おうらいもの）の代表。

G　能楽（のうがく）

多くの人を集め上演される。

H　**茶寄合（ちゃよりあい）**

公武を問わず，各地で賭け事として**闘茶（とうちゃ）**が流行。

☆闘茶は，茶や水の異同を飲み分けて賭け物を争う勝負事。

Ｉ　風俗

動乱で台頭した新興武士たちにより，伝統的権威を否定する「**バサラ〔婆娑羅〕**」の風潮が高揚。

☆「バサラ」は派手・贅沢を意味し，佐々木高氏〔導誉〕らがバサラ大名として知られた。

---

④北山文化

Ａ　建築

あ　**鹿苑寺金閣（３代将軍義満）**⇒1950年放火により焼失，55年に再建。

☆伝統的な寝殿造風の様式と禅宗様〔唐様〕を折衷したもの。

い　興福寺五重塔・東金堂

Ｂ　庭園

鹿苑寺庭園

Ｃ　絵画⇒**水墨画**の発達

あ　五百羅漢図（**明兆**〔兆殿司〕）⇒東福寺の画僧

い　妙心寺退蔵院**瓢鮎図（如拙）**⇒相国寺の画僧

う　**寒山拾得図**（伝**周文**）⇒相国寺の画僧，幕府御用絵師

Ｄ　文芸

あ　五山僧の活躍

空華集　**（義堂周信）**⇒漢詩文

蕉堅稿　**（絶海中津）**⇒漢詩文

善隣国宝記（瑞溪周鳳）⇒外交記録

い　軍記物語

難太平記　（今川了俊〔貞世〕）

☆足利尊氏挙兵以来の今川氏の活躍を述べ，太平記の誤りを指摘。

義経記

☆源義経の幼少期と末期の不遇時代を同情的に描き，民衆的義経伝説の源泉となる。

E　芸能

あ　**能〔能楽〕**⇒散楽・猿楽・田楽から**猿楽能**が発達

興福寺を本所とした**大和猿楽四座**（結崎座〔のち**観世座**〕・宝生座・金春座・金剛座）が結成され，観世座から**観阿弥・世阿弥**父子が出て，**３代将軍義満の保護を受け猿楽能を完成**した。のち，世阿弥の娘婿の金春禅竹が後継者として活躍した。

☆主要著書として，『**風姿花伝〔花伝書〕**』『**花鏡**』**（世阿弥）**，『**申楽談儀**』（世阿弥の談話を子の元能が筆録，その他多数の**謡曲**（＝能の脚本）がある。

い　**狂言**

能の合間に演じられる，風刺性の強い庶民喜劇。大名・僧侶・山伏など権威あるものを笑いの対象としたので，しばしば弾圧の対象となった。

⑤東山文化

A　建築⇒**書院造**（しょいんづくり）の登場（今日（こんにち）の日本住宅建築の原型）

い

あ　**慈照寺**（じしょうじ）**銀閣（８代将軍義政）**

☆書院造風を基調とした新しい住宅建築の様式と禅宗様〔唐様〕を折衷したもの。

い　**慈照寺東求堂同仁斎**（とうぐどうどうじんさい）**⇒書院造**

☆四畳半の間取りに，明障子（あかりしょうじ）・付（つけ）書院・床（とこ）の間・違い棚などを設置。

B　庭園

あ　慈照寺庭園（善阿弥＝山水河原者（せんずいかわらもの）の代表的人物）

い　**龍安寺**（りょうあんじ）**庭園〔石庭**（せきてい）**〕⇒枯山水**（かれさんすい）（水を用いず砂と石で自然を表現）

う　**大徳寺大仙院**（だいせんいん）**庭園⇒枯山水**

C　絵画⇒水墨画と大和絵の発展

あ　水墨画

四季山水図巻〔山水長巻〕（雪舟等楊（せっしゅうとうよう）**）**

秋冬山水図（しゅうとうさんすいず）　（　〃　）

天橋立図（あまのはしだてず）　（　〃　）

い　**土佐派⇒朝廷絵所預**（ちょうていえどころあずかり）となり，大和絵を発展させる。

清水寺縁起絵巻（きよみずでらえんぎえまき）　**（土佐光信**（みつのぶ）**）**

う　**狩野派**（かのうは）⇒周文・小栗宗湛（おぐりそうたん）のあとをうけ，**幕府御用絵師**となる。

周茂叔愛蓮図（しゅうもしゅくあいれんず）　**（狩野正信**（まさのぶ）**）**

大仙院花鳥図（だいせんいんかちょうず）　（伝**狩野元信**（もとのぶ）**）**

D　工芸

あ　**金工**（きんこう）

後藤祐乗（ゆうじょう）が８代将軍義政に仕える。

い　漆工（しっこう）

高蒔絵（たかまきえ）の技法が登場。

う　彫刻

能面の製作（小面（こおもて）〔若い女性〕・翁（おきな）〔老人〕・般若（はんにゃ）〔霊（れい）〕など）。

E　文芸

あ　**古今伝授**（こきんでんじゅ）⇒古今和歌集解釈の秘事口伝（ひじくでん）

東常縁（とうのつねより）**→飯尾宗祇**（いいおそうぎ）**→**→三条西実隆（さねたか）**→**細川幽斎（ゆうさい）　（御所伝授（ごしょ））

↓

→牡丹花肖柏（ぼたんかしょうはく）**→**饅頭屋宗二（まんじゅうやそうじ）（奈良伝授）

い　**連歌⇒飯尾宗祇**が**正風連歌**（しょうふう）を確立

新撰菟玖波集（しんせんつくばしゅう）　**（飯尾宗祇）⇒勅撰に準ぜられる**

水無瀬三吟百韻（みなせさんぎんひゃくいん）（**飯尾宗祇**・牡丹花肖柏・柴屋軒宗長（さいおくけんそうちょう））

F　**御伽草子**（おとぎぞうし）⇒庶民層を対象とする通俗的（つうぞくてき）短編小説

酒呑童子（しゅてんどうじ），文正草子（ぶんしょうぞうし），福富草子（ふくとみぞうし），物くさ太郎，一寸法師（いっすんぼうし），浦島太郎（うらしまたろう），さるかに合戦など。

☆絵の余白に当時の話し言葉で書かれた形式のものが多く，読み物としてだけでなく，絵を見て楽しむこともできた。

G　学問・思想

あ　**一条兼良**（いちじょうかねよし）（関白・太政大臣）の活躍

『**公事根源**（くじこんげん）』『江次第抄（ごうしだいしょう）』⇒有職故実（ゆうそくこじつ）書

『日本書紀纂疏（さんそ）』　⇒日本書紀の研究

『**花鳥余情**（かちょうよせい）』　⇒源氏物語の注釈書

『**樵談治要**（しょうだんちよう）』　**⇒９代将軍義尚**（よしひさ）**への政治提言**

『尺素往来（せきそ）』　⇒往来物

い　**足利学校（下野国**（しもつけのくに）**）**

関東管領上杉憲実（のりざね）**が再興**した漢学研究のための学校。戦国時代には全国から禅僧・武士が集まり，宣教師フランシスコ＝ザビエルにより「**坂東の大学**（ばんどう）」として西洋に紹介された。

う　武家子弟・都市商工業者・庶民の学問

伊呂波歌（いろはうた），童子教（どうじきょう），実語教，**庭訓往来**（ていきんおうらい），**御成敗式目**などが教科書として使用された。

H　**茶道**・**花道**・香道

あ　**茶道〔茶の湯〕**　⇒茶と禅の精神の統一により**侘茶**が創出される

奈良の**村田珠光**→堺の**武野紹鷗**→堺の**千利休**〔宗易〕と大成される。

い　**花道〔華道〕**　⇒立花から**生花**へ

京都六角堂の**池坊専慶**ののち，専応→専好と大成される。

う　香道

香木を焚き，香りを創出・判定することなどにより人格形成をはかる芸道。

I　芸能

あ　**小歌**・早歌　⇒「**閑吟集**」の編纂

い　古浄瑠璃　⇒現在は音曲を失ったもの

う　幸若舞　⇒桃井直詮が創始した曲舞の一種

え　盆踊り　⇒**風流**踊り＋念仏踊り

お　猿まわし・獅子舞

か　祇園祭　⇒京都の町衆により再興（1500年）

J　風俗

木綿の普及，姫飯を食す習慣，味噌・醤油の使用，精進料理・懐石料理・豆腐・納豆・蒲鉾・素麺・饅頭・団子などが登場。

☆武家・庶民は**小袖**の着用が普通となり，男性は月代を剃り，女性は垂髪であった。

⑥戦国時代の文化

A　**文化の地方普及**

城下町の形成，応仁の乱による**公家・僧侶の地方疎開**，**連歌師**(れんがし)の地方遍歴(へんれき)などによる。

☆典型例＝**大内氏**の城下町周防国(すおうのくに)**山口**(西の京・小京都)，**大内版**の出版。

B　文芸

あ　連歌

『**犬筑波集**(いぬつくばしゅう)』を編纂した(山崎(やまざき))**宗鑑**(そうかん)や荒木田守武(あらきだもりたけ)らにより，滑稽(こっけい)や機知(きち)を基調とする**俳諧連歌**が確立される。

☆連歌師により諸国の各階層へも連歌が普及，公家の堂上(とうしょう)連歌に対し地下(じげ)連歌とよばれた。

い　五山文学

梅花無尽蔵(ばいかむじんぞう)(万里集九(ばんりしゅうく))

☆万里集九は中部・関東地方をめぐり，地方の人々と交流して優れた漢詩文を残した。

C　学問・思想

あ　**宋学〔朱子学〕**

薩南(さつなん)学派　　　(**桂庵玄樹**(けいあんげんじゅ))

☆肥後の菊池(きくち)氏・**薩摩**の島津氏に招かれ，薩摩で『大学章句(しょうく)』を刊行。

海南(かいなん)学派〔南学派〕(**南村梅軒**(みなみむらばいけん))

☆**土佐**の吉良(きら)氏に招かれる。

い　医書

医書大全　　　(阿佐井野宗瑞(あさいのそうずい))

☆わが国初の医学書，中国の医学書を翻訳(ほんやく)して刊行。

う　辞書

節用集(せつようしゅう)　　　(饅頭屋宗二〔林(りん)宗二〕ら)

☆奈良の商人が刊行した辞書。

〈*Note*〉

第10講　確認テスト

1　惣〔惣村〕内の指導階層の呼称としてふさわしくないものを一つ選べ。

①おとな〔長・乙名〕・沙汰人　②番頭　③年寄　④代官

2　惣〔惣村〕内の上層農民たちの祭祀集団を何というか？

①市座　②宮座　③仲間　④組合

3　1428年の「正長の徳政一揆」は，次のどの将軍の就任にあたり発生したものであったか？

①４代義持　②６代義教　③７代義勝　④８代義政

4　越前国吉崎を拠点に，北陸地方に広く浄土真宗〔一向宗〕を布教した人物とは？

①親鸞　②唯円　③蓮如〔兼寿〕　④顕如〔光佐〕

5　1532年の法華一揆で焼打ちされた場所とは？

①京都御所　②花の御所〔室町第〕　③比叡山延暦寺　④山科本願寺

6　1441年の「嘉吉の変」で６代将軍足利義教を謀殺した守護大名とは？

①上杉憲実　②赤松満祐　③山名持豊〔山名宗全〕　④畠山政長

7　守護出身ではない戦国大名を次から一つ選べ。

①朝倉氏　②武田氏　③今川氏　④島津氏

8　守護の土岐氏を下剋上し，美濃国の支配者となった戦国大名とは？

①北条早雲　②斎藤道三　③毛利元就　④松永久秀

9　阿波の戦国大名である三好氏が制定した分国法とは？

①『早雲寺殿廿一箇条』　②『塵芥集』
③『甲州法度之次第』　④『新加制式』

10　日明貿易〔勘合貿易〕の拠点でもあった，12 人の年行司が自治を行う港町とは？

①博多　②堺　③大湊　④十三湊

11　京都の吉田兼倶が創始した，儒教・仏教・道教を取り入れた神道とは？

①伊勢神道　②唯一神道　③垂加神道　④復古神道

12　正風連歌を確立し『新撰菟玖波集』を編纂した人物とは？

①二条良基　②東常縁　③(飯尾)宗祇　④(山崎)宗鑑

解答

1	④	2	②	3	②	4	③	5	④
6	②	7	①	8	②	9	④	10	①
11	②	12	③						